

「ITを活用した心が通う便利で豊かな田舎暮らし」の実現に向けた施策を推進

令和3年度は、国、京都府、関係機関等との強固な連携のもと、ワクチン接種をはじめとする新型コロナウイルス感染症対策と地域経済対策を迅速に行うとともに、第7次総合計画に掲げる「ITを活用した心が通う便利で豊かな田舎暮らし」の実現に向け、舞鶴市SDGs未来都市の推進と3つのまちづくり戦略において重点施策と位置付ける子育て、教育、医療、福祉、防災、地域経済の活性化などに戦略的、効果的に取り組みます。

これらの取り組みが、コロナ禍で求められる大都市集中型の社会から、地方の拠点都市と大都市が連携・共生し、感染症に打ち勝ち、乗り越える持続可能な社会経済システム「ビヨンド・コロナ社会」の実現につながると考えています。

事業推進にあたり、当初予算では国や府などさまざまな機関の補助金等の財源確保にも努め、将来世代の負担を抑制しています。また、経済事情の変動や災害などにもしっかりと対応できる体制を備え、健全で持続可能な財政基盤を将来世代に引き継ぐ責任を果たすため、財政規律を最大限働かせた予算編成を行いました。

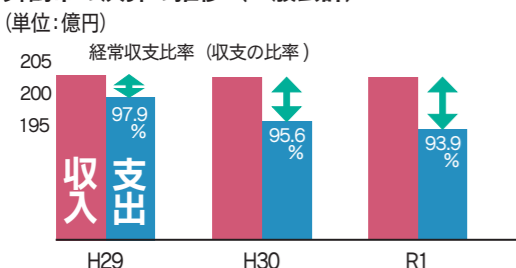
『まいづる家』の家計簿

一般会計の予算約 358 億円を、月収 35 万 8 千円の「まいづる家」の家計簿に例えると…

今月のまいづる家は、家族みんなの節約のおかげで貯金の取り崩し額は増えていませんが、先月よりも給与や家族のアルバイト収入が減る一方、家の増改築や修繕費などの必要な経費が増えたため、ローンによる借入れが増えていきます。借入れにあたっては、将来返済金の一部に対して、国から給付が受けられるローンを活用しています。支出を見ると、医療費や子どもの教育費、仕送りが減ったものの、家の増改築や修繕費をはじめ、食費や光熱水費などが増えています。今後も簡単には減らせない支出が多いので、来月もやりくりには工夫が必要です。

収入 (市の財政にあてはめると)			支出 (市の財政にあてはめると)		
	金額	先月比		金額	先月比
給与(市税)	113,000円	1,000円↓	医療費(扶助費)	80,000円	1,000円↓
家族のアルバイト収入(国・府支出金、地方交付税など)	175,000円	3,000円↓	子どもの教育費や仕送りなど(繰入金、投資及び出資貸付金、補助費など)	75,000円	2,000円↓
ローンによる借入れ(市債)	42,000円	11,000円↑	食費(人件費)	68,000円	1,000円↑
家賃収入(諸収入、使用料や分担金、財産収入など)	19,000円	2,000円↑	家の増改築や修繕費(建設事業費、維持補修費)	48,000円	6,000円↑
貯金の取り崩し(繰入金)	9,000円	±0円	光熱水費や日用品の購入(物件費)	47,000円	3,000円↑
			ローンの返済(公債費)	38,000円	2,000円↑
			貯金・その他雑費(積立金・予備費)	2,000円	±0円
計(一般会計歳入合計)	358,000円	9,000円↑	計(一般会計歳出合計)	358,000円	9,000円↑

舞鶴市の決算の推移(一般会計)



※経常的な収入に占める支出の比率がH30より1.7%下がっています

市税などの毎年度入ってくるような収入に対する扶助費など、現行の行政サービス等を維持するために必要な支出の割合を経常収支比率といいます。

インフラなどが一定整備され、優先すべき施策が福祉や子育て、教育などの充実にシフトしており、多くの自治体でも総じて上昇傾向です。

今後も市税収入などが減少することが見込まれるので、新たな財源確保や事業の見直しにより、収入と支出のバランスをとりながら必要な市民サービスを提供します。

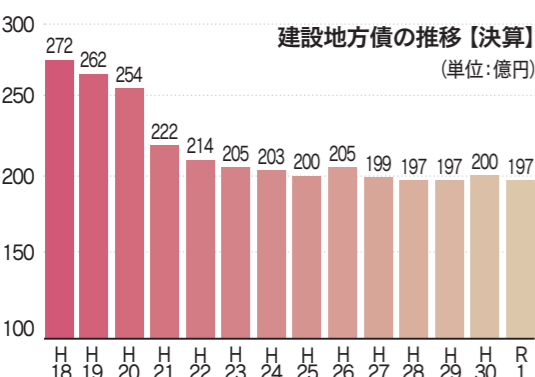
舞鶴市の現状

持続可能な財政運営に向けて

建設地方債の計画的な活用

建設地方債とは、道路・河川などの整備を行うための借入です。

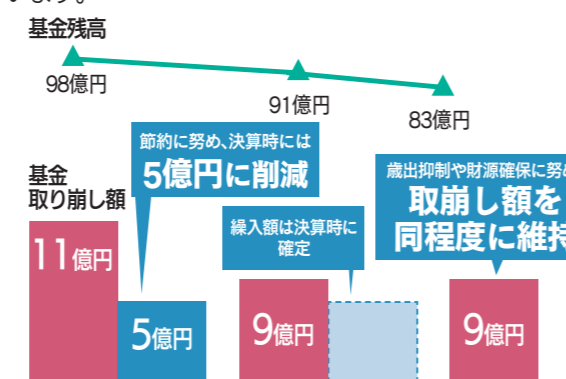
令和3年度予算では、国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を踏まえ、迅速に防災・減災対策に取り組むため、交付税措置のある有利な地方債を有効活用し、計画的な運用に努めています。



基金の取り崩し額の抑制

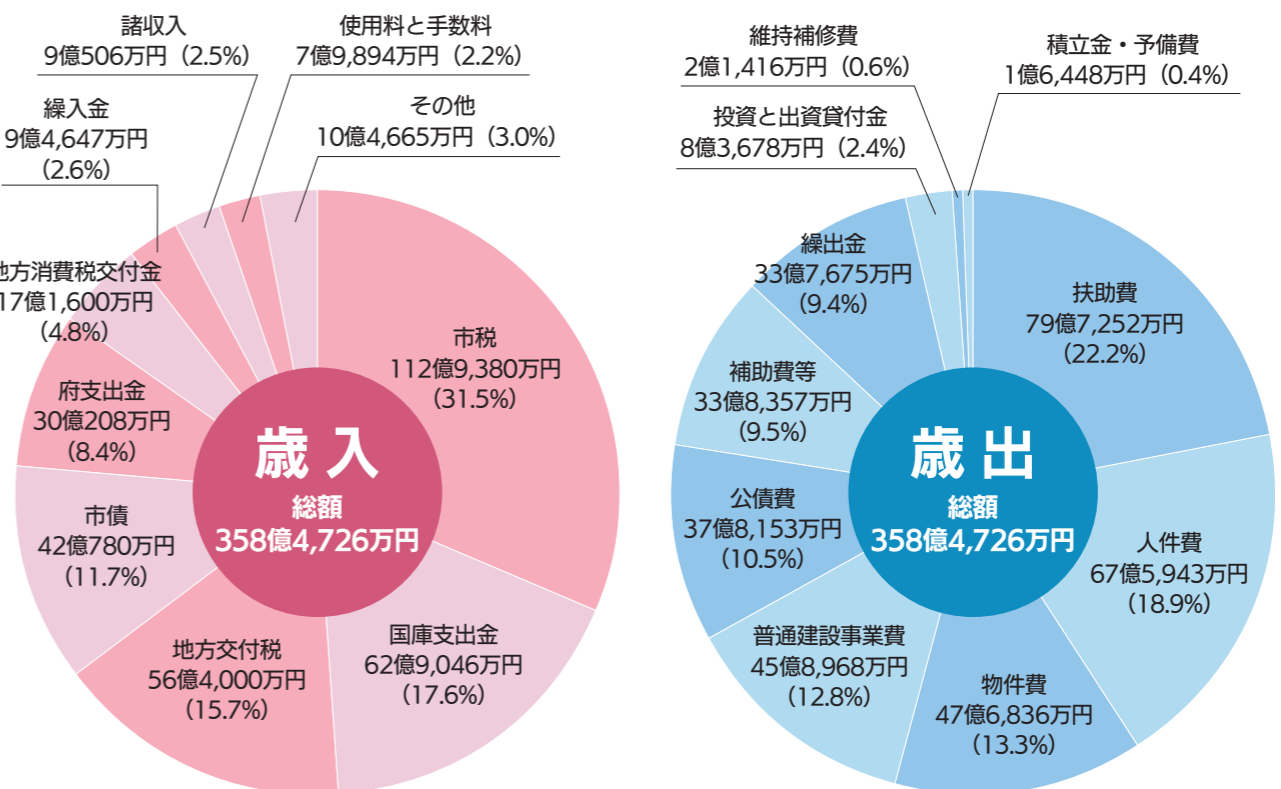
基金は、災害など予期せぬ支出や税収など収入の減少、将来の公共施設の整備などに備える舞鶴市の貯金です。

市民生活に密着した施設の整備など、将来に向けて必要な投資に活用する一方で、残高にも留意しつつ運営を行っており、現在の基金残高は約83億円となっています。



※基金残高、基金取り崩し額ともに、R1は決算額、R2とR3は決算が未確定のため予算額を表しています。

一般会計	358億4,726万円	前年度との比較 9億6,868万円 増↑
------	-------------	----------------------



特別会計	180億8,664万円	前年度との比較 2億6,487万円 増↑
国民健康保険事業会計	77億1,460万円	1億6,937万円 減↓
貯木事業会計	210万円	106万円 増↑
駐車場事業会計	8,239万円	927万円 増↑
介護保険事業会計	89億520万円	4億4,441万円 増↑
後期高齢者医療事業会計	13億8,235万円	2,050万円 減↓

公営企業会計	121億6,908万円	前年度との比較 6億3,496万円 増↑
水道事業会計	33億3,980万円	1億7,390万円 減↓
下水道事業会計	77億6,960万円	8億1,910万円 増↑
病院事業会計	10億5,968万円	1,024万円 減↓

当初予算の詳細内容は、市ホームページでも紹介しています。

